

# いしきの まき



No.  
**22**

2月定例会

## 議会だより

平成22年5月14日発行

平成22年度

予算総額1,099億円を可決 …… **2**

施政方針をただす …… **4**

24人が一般質問で市政を問う …… **7**

特別委員会調査活動報告 …… **13**

議会基本条例を制定 …… **14**



新たな未来に向かってはばたけ  
新設「牡鹿中学校」入学式

## 第1回定例会

# 平成22年度スタート

# 誇りを持って、まちなちづくり

平成22年第1回定例会は、2月23日から3月26日までの32日間にわたり開催されました。今期定例会では、平成22年度各種会計当初予算をはじめ、条例制定や改正、平成21年度各種会計補正予算など市長提出議案59件が提出され、いずれも原案どおり可決されました。

### 積極的予算配分可決

### 前年比2・4%増

### 当初総額

### 1,099億円

亀山市長にとって初編成となる平成22年度当初予算のうち、一般会計の総額は、626億6千万円で、前年度当初予算に比べ、19億円、3・1%の増となり、各種特別会計を含む総額は対前年比2・4%増の1、099億円となった。

### 歳入

市税は175億2千万円で、家屋や償却資産等の固定資産税で伸びたが、個人や法人市民税については減少したことから、対前年比1・8%の減と

なった。

地方交付税は、203億3千万円で6・2%増、国の公立高校授業料無償化に伴い国庫支出金は75億円、対前年比33億円の増、市債は、64億4千万円で対前年比31・1%の減、財政調整基金などの繰入金は10億4千万円で対前年比5・1%の増となった。

### 歳出

総合運動公園の防災公園整備事業や石巻工業港、曾波神線街路整備事業、雄勝・相川保育所建設事

業などの投資的経費は、59億円、対前年比10・4%増となったほか、マニフェスト関連事業として、高齢者向け優良賃貸住宅整備補助金をはじめ、小学2年生まで医療費助成を拡大する子ども医療対策、新庁舎の子育てサロンを活用した休日子育て相談事業、まちなか賑わい創出事業、太陽光発電普及促進事業、植物工場企業誘致事業など、計34事業について予算配分する積極型予算を可決した。



# の使いみち

## ■平成22年度当初予算の主な新規事業

蛇田支所等複合施設建設事業費	1300万円
休日子育て相談事業費	45万円
牡鹿中学校大規模改造事業費	2億2331万円
石巻専修大学地域連携事業費補助金	1000万円
まちなか実験室事業費	70万円
太陽光発電普及促進事業補助金	1750万円
植物工場企業誘致実施計画策定業務委託料	350万円
高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業整備費補助金	6730万円
子ども医療対策費	3億4091万円
子ども手当て費	29億3111万円
総合運動公園建設推進費（公園整備工事等）	18億2189万円
（仮称）市民ホール建設推進費	500万円
（仮称）地域交流センター建設推進費	500万円



▲防災公園を整備する総合運動公園

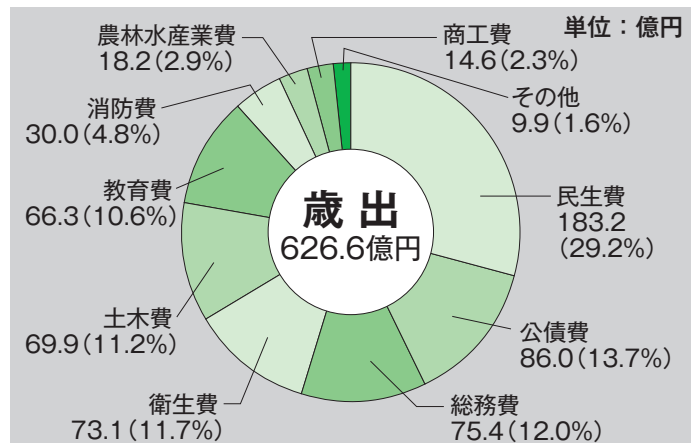
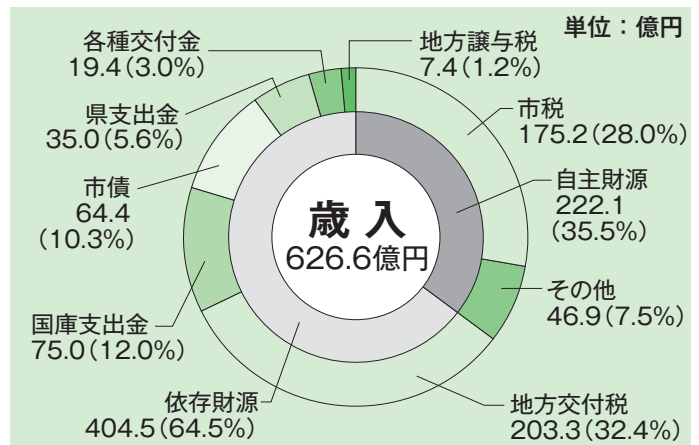


# 平成22年度 一般会計予算 626億6千万円

## ■平成22年度各種会計のあらまし

会計区分	予算額 (千円)	前年度比 (%)	
一般会計	62,660,000	3.1	
特別会計	土地取得	1,674,928	911.4
	診療所事業	631,191	▲19.2
	おしかホールランド事業	48,999	▲6.4
	水産物地方卸売市場	638,825	100.4
	駐車場事業	24,719	▲8.1
	下水道事業	7,292,604	▲15.3
	漁業集落排水事業	19,617	0.3
	農業集落排水事業	406,358	▲32.4
	浄化槽整備事業	62,288	5.8
	国民健康保険事業	18,238,611	▲1.7
	後期高齢者医療	1,561,412	17.1
	老人保健医療	4,338	▲91.2
	介護保険事業	10,420,617	4.5
	病院事業会計	6,215,285	3.8
合計	109,899,792	2.4	

## 〈一般会計予算の内訳〉



# 会派代表質疑

# 施政方針をただす



2月定例会において、亀山市長初となる平成22年度の施政方針演説が行われました。この施政方針に対する質疑は、3月1日と2日の両日、各会派の代表6人により行われました。その中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

## 市長の決意

市民が、豊かな自然環境の中で、このまちに住むことに誇りを持ち、健康で楽しい、充実した人生を送ることのできる舞台をつくるため、「対話」「連携」「行動」の3つの言葉をキーワードに、生活者の目線で市民のためのまちづくりを進めて行く。

### 【施政方針演説の要旨】

#### 協働のまちづくり

市役所新庁舎を協働の拠点として、市民開放スペースを生かして市民活動を推進する。

#### 未来を担う青少年を育むまちづくり

個性と創造性、生きる力をはぐくむ教育を目指し、学校施設の耐震化を推進する。  
市立高等学校の統合を進めるとともに、石巻専修大学と地域の連携を支援する。

#### 活力あるまちづくり

自動車、食品製造の関連産業を中心に企業誘致に努める。  
太陽光発電の普及促進や植物工場の誘致にも力を入れ、市独自の技術開発、新産業の創出に取り組む。

#### 安心して暮らせるまちづくり

食を生かして「元氣な石巻」を推進する。  
医療体制を強化し、子育て支援を充実させる。  
保育所の整備と放課後児童クラブの拡充を図る。  
高齢者と障害者福祉の環境を整備する。

#### 環境と文化を大切にすまちづくり

環境保全の啓発を強化する。  
石巻文化センターを毛利コレクションなどの博物館機能施設とする。  
齋藤氏庭園の施設整備を進める。

#### 地域に根ざした交流と連携のまちづくり

空き店舗の活用、まちなか実験室などで中心市街地に賑わいを取り戻す。  
離島の定住自立促進策を推進する。  
各地区の住民バス等の運行を支援する。

#### Q 新たな地域自治システムとは

A 今年度中に素案をまとめる

#### Q 新たな協働のまちづくりのシステムとして構築する地域自治システムとは。

A 庁内で組織する研究会において現在検討中であるが、それぞれの地域が持つ独自性を活かしながら地域力を高め、活力を生み出し、

#### Q 大学教授であった市長の教育論は

A 粘り強く取り組む姿勢が大切

#### Q 粘り強く取り組む姿勢が大切

A 粘り強く取り組む姿勢が大切

#### Q た市長の教育論があつてこそ、政策提起は輝くと考える。市長の「確かな学力も含めた教育論」とは。

A 子供が学習に興味を持ち、粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせることや、子供の知的欲求を十分に満たし

#### Q 子供が学習に興味を持ち、粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせることや、子供の知的欲求を十分に満たし

A 子供が学習に興味を持ち、粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせることや、子供の知的欲求を十分に満たし

**Q** 新たな重点分野雇用創出事業とは

**A** 介護・医療・農林・環境など

**Q** 新たな雇用機会を創出する重点分野雇用創出事業とは。

が期待される分野において新たな雇用を創出し、地域ニーズに応じた人材を育成し雇用につなげることを目的としている。

**A** 本事業は、国の「明日の安心と成長のための緊急経済対策」に盛り込まれた事業で、介護、医療、農林、環境などの成長

なお、地域人材育成については、資格取得など将来の就職につながるための研修等の実施が必要になる。

**A** 介護は施設入所待機者対策が大きな課題

**Q** 医療・介護・年金などに対する市長の認識は

**Q** 医療・介護・年金といったセーフティネットの崩壊が叫ばれる現状についての認識は。

施設への待機者対策が大きな課題と認識していることから、第4期事業計画に基づく施設整備の実現に努める。

年金については、持続可能な年金制度のあり方を国において真摯に議論し、適切な見直しを行うことが必要であると考え

**A** 医療については、国の責任において、医療保険制度の一本化などの抜本的な改革を行う必要があり、介護保険については介護保



▲生きがいディサービス（大街道地区）のみなさん



**Q** 環境科学が専門の市長に期待するが

**A** 科学の世界に目を向け、地域を愛してほしい

**Q** 元石巻専修大学理工学部教授として、環境科学を専門としていた市長だからこそ、特に環境分野での指導力を期待するが。

**A** 大学在職中は、専門分野の研究のほか、地域企業との共同研究や市民を対象とする

講座を開催するなど、地域に開かれた大学と地域に根ざした活動を行ってきた。今後においても、まちなか実験室の開業や水質浄化実験などの事業に取り組み中で、子供たちが科学の世界に目を向け、地域を愛するようになって欲しいと考えている。

**Q** 均衡ある市域発展に対する市長の認識は

**A** 地域に応じたまちづくりが必要

**Q** 市域が拡大したことに伴い、同じ市域でありながらも地域間格差が生じていることについての市長の認識は。

の交通基盤の確保や、道路、下水道などの都市基盤の整備、行政と市民、NPO等との協働を図り、地域力を高めながら、個性ある地域づくりによる活性化が必要であると考えている。

**A** 市域が広範囲であるが、地域のどこに住んでも安心して暮らせるまちづくりに努める必要がある。そのため、バス、離島航路など



▲広範な市域の地域づくりは



▲まちなか実験室

# 各委員会の質疑応答

3月3日、4日および5日の本会議で条例や予算などの議案が審議され、総務企画、環境福祉、建設、産経教育の各常任委員会に付託されました。各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

## 総務企画 地域防災活動について

**Q**

自主防災組織の現状は。

**A**

自主防災組織とは、災害時に地域で協力し、助け合っていくための組織である。

その結成により、地域住民の連帯を強化し、防災の知識と意識を向上させることで、被害の防止・軽減が図られ、地域を災害から守ることができると。また、防災用資機材購入や防災訓練のための補助金の交付を受けることができる。

平成21年12月1日現在の組織率については、雄勝地区100%、本庁地区72・5%と高い地区が



▲自主防災組織による訓練

ある一方、河北地区16・8%、牡鹿地区は10・1%と地域により異なる。今後も組織率向上のため、市政懇談会や行政区長会等において、広報、啓発活動を行っていきたくと考えている。

## 環境福祉

**Q**

一般廃棄物最終処分場の今後の見通しは。

**A**

現在、5つの処分場を有している。合併時点では、施設の規模や搬入量等により、埋め立て可能期間が施設ごとに異なっていたが、3年前から搬入対象を振り分けするなど、埋め立て期間を平準化してきており、全施設を平均した

## 一般廃棄物最終処分場について

一般廃棄物最終処分場の今後の見通しは。場合、平成33年度まで埋め立て可能と見込んでいます。



▲埋立処分場（大衡山）

## 建設

**Q**

石巻港大型客船誘致協議会の設置目的は。

**A**

協議会は、石巻港の整備をはじめ利用促進や活性化を目的に、石巻市、東松島市、女川町、商工会議所、観光協会等が連携し、平成21年10月に発足した。首都圏の客船会社へのポータルセールス、本年7月に

## 大型客船誘致について



▲来港予定の「につぼん丸」

## 産経教育

## 企業誘致優遇制度について

**Q**

他の自治体との優位性と制度の周知方法は。

**A**

市内に進出する自動車、食品製造、木材関連産業のうち新たに雇用した地元採用の常用従業員を一定期間、県外の本社工場などに研修派遣する経費を負担する「県外事業所等技術研修派遣助成金」と、市内の企業に発注した原材料や食品の一部代金を助成する「市内企業発注促進助成金」があり、いずれも県内の自治体では初の助成制度となる。

また、新しい助成制度等については、東京や名古屋で開催



▲業務用団地「石巻トゥモロービジネスタウン」

される企業立地セミナーで売り込むとともに、企業立地アドバイザーや事業所アンケートなどを通して広くPRしていきたいと考えている。

来港する「につぼん丸」を迎え入れのための調整作業及び市内観光ツアーの企画等を活動の三本柱として、事業を進めていくこととしており、来年度

以降についても、ポータルセールスの強化を進め、港の賑わいを創出していきたいと考えている。